

学籍番号	氏名	担当教員	テーマ		
M23-0470G	越沢 亮祐	大曾根 先生	承認印	大曾根ゼミナール 夏合宿支援システムの開発	

1. 研究目的

私は、大曾根ゼミナールの夏合宿係に任命されたが、前年度の幹事と引継ぎがうまくいかず苦労した。特に、夏合宿のメインイベントである2日目の観光を何にするとゼミ生が楽しんでくれるのかということに最も苦悩した。また、今回の寝坊などの失敗をまた繰り返してほしくないという思いもあった。さらに、合宿でたくさん写真をとったにもかかわらず、その写真をゼミナールのホームページで数枚しか閲覧できないことにもったいなさを感じた。そこで、これらの問題を解決できる大曾根ゼミ夏合宿係支援システムを開発しようと考えた。

2. システム概要

本システムは、過去の夏合宿の活動が的確に理解できるシステムである。そのシステム概要を図1に示す。このシステムには以下の3つの機能をもたせることにした。

(1) 心得表示機能

大曾根ゼミの夏合宿の特徴や注意点を表示できる機能である。これにより、夏合宿の基本が理解でき、前任者がゼミナールを辞めてしまった場合でも対応できると考える。

(2) 履歴閲覧機能

過去の夏合宿の反省点やゼミ生の感想などを閲覧できる機能である。年度別に会計報告も閲覧できるように工夫した。その画面仕様を図2に示す。

(3) アルバム機能

夏合宿のときに撮影した写真を年度別に閲覧できるようにする機能である。10枚の写真を表示できる。その画面仕様を図3に示す。

3. 履歴閲覧機能

履歴検索機能の出力項目は、①反省点、②ゼミ生の感想、③先生の感想、④思い出に残ったこと、⑤後輩に引き継ぎたいことである。その画面仕様を図3に示す。この機能を使用することにより、幹事はどのようなイベントがゼミ生に喜ばれたかを知ることができ、さらに、過去の失敗を繰り返すことがなくなると考える。

4. 研究結果

(1) 夏合宿の特徴や注意点などの基本的な事柄を表示できる心得表示機能を実現できた。

(2) 過去の夏合宿の履歴を表示できた。

(3) 撮影した写真を手作り風のアルバム上で年度別に閲覧可能にするアルバム機能を実現できた。

5. 残された課題

(1) 過去の履歴データ数が過去3年分しか入力されていないので、データを追加していきたい。

(2) 写真や履歴データの入力作業が少し手間なので、簡単に入力できるよう工夫したい。

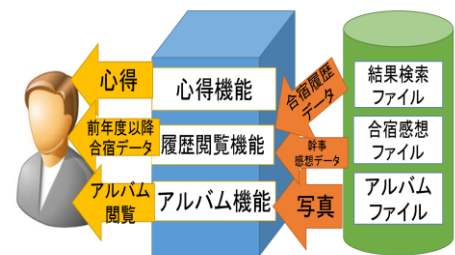


図1 システム概要図

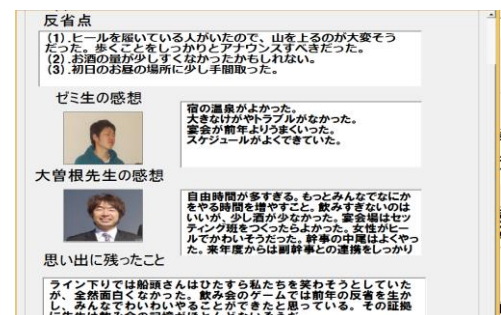


図2 履歴閲覧画面



図3 アルバム画面

キーワード	支援システム、ゼミナール、画像処理、ファイル操作、検索				
種類	システム開発	手法	合宿支援	データ源	ゼミナール資料
使用ハード	パソコン	使用ソフト	Excel VBA	使用言語	Visual Basic

